

<問題－IV－（２）：建設環境>

1. 工事中の水質濁水対策としてよく実施される濁水処理方式として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
 - a. 自然沈殿池方式
 - b. 凝集沈殿濾過方式
 - c. 機械処理沈殿方式
 - d. 機械処理脱水方式

2. 我が国で実施されているオゾン層の保護対策として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。
 - a. ウィーン条約の締結
 - b. 屋上緑化
 - c. モニタリングネットワーク（EANET）の構築
 - d. ロンドン条約の締結

3. 循環可能な資源の適正な循環利用（リサイクル）を推進するために近年制定された法律として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
 - a. 食品リサイクル法
 - b. 自動車リサイクル法
 - c. 古紙リサイクル法
 - d. 包装容器リサイクル法

4. 河川（湖沼を除く）における水質の環境基準のうち、生活環境の保全に係わる項目として、誤っているものを a～d のなかから選びなさい。
 - a. 全窒素
 - b. 全亜鉛
 - c. 大腸菌群数
 - d. 水素イオン濃度

5. 地域における生態系の指標となる種概念として、「ある生き物の美しさや魅力によって世間に特定の生息場所を保護するといったことをアピールするのに役立つ種」として、正しいものを a～d のなかから選びなさい。
 - a. キーストーン種
 - b. アンブレラ種
 - c. 象徴種
 - d. 生態的指標種

6. 原生自然環境保全地域の説明として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 原生自然環境保全地域は、「自然公園法」に基づき環境大臣が指定を行って、原生的な自然の保全を図るものである。
 - b. 平成 17 年 3 月現在、十勝川源流部、白神山地、大井川源流部、南硫黄島、屋久島の 5 地域、5,631ha が指定されている。
 - c. 工作物の新改増築、土地の形状変更、動植物の採取など各種行為は原則禁止となっており、日本の自然保護地域制度の中で最も厳しい保護規制が行われている。
 - d. 人の活動によって影響を受けることなく原生状態を維持している 1,000ha（島嶼にあっては 300ha）以上の国公有地および私有地が指定対象となる。
7. 里地里山およびそこで生じている環境問題を説明する文章として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 里山の手入れ不足に起因する生物多様性の減少は、スギ・ヒノキ林などの二次林において顕著である。
 - b. 人口が減少している中山間地を中心に、シカ、サル、イノシシなど一部の大型・中型哺乳類の個体数あるいは分布域が著しく減少している。
 - c. 耕作放棄地の拡大により、二次林と水田、水路、ため池等のモザイクからなる里地里山生態系が、本来の自然生態系へと変質しつつある。
 - d. 山間部の人工林では、間伐等の管理が十分に行われず、森林の持つ水源涵養、土砂流出軽減などの機能が低下している。
8. 平成 18 年 4 月に閣議決定された、「環境的側面、経済的側面、社会的側面の統合的な向上」を重要政策とする国の計画の名称として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 循環型社会形成推進基本計画
 - b. 地球温暖化防止地域推進計画
 - c. 京都議定書目標達成計画
 - d. 第三次環境基本計画
9. 環境省レッドデータブックに記載されている下記の猛禽類のうち、主に東南アジアを越冬地とする種として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. ミサゴ
 - b. ハチクマ
 - c. オオワシ
 - d. クマタカ

10. 京都議定書では、直接的な国内の排出削減以外に、温室効果ガス削減数値目標の達成を容易にするため、JI、CDM、ET と略称される 3 つのメカニズムを導入した。このうち CDM の説明として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 先進締約国の温室効果ガス排出削減量が削減目標値を達成し、更に削減できた場合に、その余剰分を金銭対価として他国へ売却できる仕組み
 - b. 先進国同士が共同で排出削減等のプロジェクトを実施し、投資国が自国の数値目標の達成のためにその排出削減単位をクレジットとして獲得できる仕組み
 - c. 先進国と途上国が共同で削減プロジェクトを途上国において実施し、生じた削減分の一部を先進国がクレジットとして得て、自国の削減に充当できる仕組み
 - d. 温室効果ガス排出・吸収量世界標準算定方式を定めるための技術支援を行うことで、排出削減単位をクレジットとして獲得できる仕組み
11. 環境影響評価手続きの流れについて、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 準備書作成—方法書作成—調査・予測・評価—評価書作成
 - b. 方法書作成—準備書作成—調査・予測・評価—評価書作成
 - c. 方法書作成—調査・予測・評価—準備書作成—評価書作成
 - d. 準備書作成—調査・予測・評価—方法書作成—評価書作成
12. 環境影響評価法の対象事業として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 高速自動車国道の改築事業
 - b. 二級河川における貯水池の水面面積 100ha のダムの新築事業
 - c. 一級河川における河川改修事業
 - d. 2 車線 20km の大規模林道事業
13. 「二酸化窒素に係る環境基準について」で規定されている測定方法として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 非分散型赤外分析計を用いる方法
 - b. β 線吸収法
 - c. 溶液導電率法
 - d. ザルツマン試薬を用いる吸光光度法
14. 新・生物多様性国家戦略における対策の基本方針として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- a. 自然再生・修復事業の推進
 - b. 里地里山等の持続可能な利用
 - c. 地域の観光資源としての活用
 - d. 野生生物の保護管理の強化

15. 局地的な大気汚染をもたらす現象、条件として、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- ストリートキャニオン
 - ダウンウォッシュ
 - ブルーム
 - ダウンドラフト
16. 施設の完成後（供用後）に、大気汚染、騒音、振動の全てについて周辺環境への影響を検討すべき事業として、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- 新幹線
 - 火力発電所
 - 放水路
 - ダム
17. 酸性雨に関する記述のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- 自動車や工場などから排出される硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素などの酸性物質が降雨に溶解して pH=5.6 以下となった雨を酸性雨という。
 - 酸性物質が雨滴中に取り込まれる過程には、汚染物質を含んだ大気中の水蒸気が雨滴を形成する過程と、雨滴が降下中に大気中の汚染物質等を直接取り込む過程があり、前者をウォッシュアウト、後者をレインアウトという。
 - 酸性雨は、植物の枯死をはじめ生物に直接的な影響を及ぼすとともに、土壌や河川・湖沼の酸性化等により生物の生育・生息環境にも大きな影響を与えるものであり、近年では季節風による大陸からの影響が示唆されている。
 - 酸性雨対策としては、排出抑制としての脱硫技術や排煙からの脱硫技術・脱硝技術等が挙げられる。
18. 低周波音に関する記述のうち、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- 概ね 100Hz 以下の低い周波数の空気振動を低周波音という。
 - 人間の可聴音域の下限以下の音である 20Hz 以下の音を一般に超低周波音という。
 - 低周波音は、雷や噴火、風等の自然現象や工場等のボイラー、コンプレッサー等の機械、車両の走行（道路）など、様々なものから発生している。
 - 低周波音の影響を調査する場合、人の感覚および睡眠への影響に対しては周波数補正回路 A 特性の音圧レベルを測定する。
19. 「第三次環境基本計画」における重点分野政策プログラムのテーマとして、誤っているものを a~d のなかから選びなさい。
- 物質循環の確保と循環型社会の構築
 - 海洋汚染の防止
 - 都市における良好な大気環境の確保
 - 化学物質の環境リスクの低減

20. 個別の企業や事業所が、環境に関する方針や目標を設定し、PDCA サイクルで達成に向けて取り組む仕組みとして、正しいものを a~d のなかから選びなさい。
- a. LCA (ライフサイクルアセスメント)
 - b. EMS (環境マネジメントシステム)
 - c. 環境会計
 - d. グリーン調達